

## 活動報告

団体名	認定特定非営利活動法人カタリバ
活動名	熊本県益城町の子どもたちの心のケアと学習支援を行う居場所づくりの活動
活動期間	2017年10月～2018年3月
活動の成果	NPOカタリバは、東北で運営しているコラボ・スクールの経験を活かし、益城町に3校目のコラボ・スクール「ましき夢創塾」を設立しました。夢創塾は、教育委員会、中学校と協力し合い子どもたちの学びを創出しています。主な活動として学校や仮設団地など子どもたちの日常に近い場所で、学習支援と学校行事支援の2種類の支援を行っています。学習支援では、2つの中学校と2つの仮設団地で、学習会を開催しています。特に仮設住宅に在住の子どもたちは学習時間の減少が心配されています。そんな中、熊本市内の大学生を中心に全国からのボランティア参加の元、学習会を開いています。学習会ではボランティアが「ナナメの関係」と「本音の対話」を意識し、子供たちの心のケアの面でも支援を継続しています。学校行事支援では、中学校で例年実施している職場体験学習などのキャリア教育をお手伝いしています。環境要因で将来を描きづらい中、授業を通して自分の将来を描き、心の安定にもつなげる目的です。学習の場の確保・充実、キャリア教育の充実を通して、心を落ち着けることができ、将来に向けて前向きに取り組める環境を創出しています。
寄付者へのメッセージ	いつもご声援くださっている皆様、ありがとうございます。震災から2年が経ち、熊本地震に対する報道も少なくなり、関心が薄まってきているという声を住民の方からよく聞きます。継続して活動を続ける団体も減り続けています。仮設の入居期間は原則2年間と決まっていますが、熊本地震では今も約1万6500戸の仮設で被災者が暮らしています。災害公営住宅の建設もまだ先のため、仮設住宅の期間を1年間延長することが国の方針として決まりました。益城町には未だ先の見えない生活環境の中で不安を抱えている子どもがいます。カタリバは、子どもたちが「震災があったから、夢をあきらめた…」そんな想いを抱かせないために、これからも益城町での活動を継続していきます。

(活動のようす)



